

泥水加圧工法用

かいこう

解膠剤

ブルック粗目状・ブルックLI液体

(粘性低下剤)

■概要

泥水加圧工法では、シルト・粘土層を掘進すると、排泥水の粘性が上昇します。ブルックは、この泥水の粘性を低下させる解膠剤です。更に、土砂ホッパや泥土圧工法掘進機のチャンバー内の閉塞解除にも使用されておりま

■特徴

1. 泥水調整槽に投入し、送泥水の粘性を低下させ、循環使用回数を増やすことができます。
2. 余剰泥水の処分量を少なくすることによって、バキューム処理費を大幅に削減できます。
3. 送泥水の粘性を低下させることによって、面板取り込み口の付着を防止でき、円滑な掘進施工ができます。
4. 粗目（ざらめ）状ですから、継粉（ままこ）にならず簡単に溶解します。
5. セメント等を含むアルカリ性の泥水の粘性でも低下できます。



ブルックLI (液体)



ブルック (粗目状)

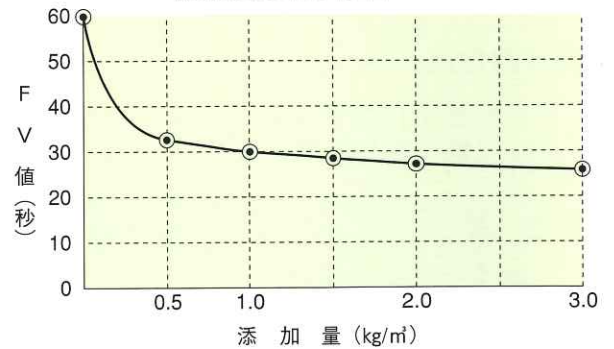
■使用方法

1. ブルック（粗目状）を溶解槽で十分に溶解し、調整槽へ投入します。目安は泥水 1 m³ 当り 1.0~3.0kg です。
2. 約10分間程攪拌して泥水の粘性を低下させます。

使用例1 (セメント混入の場合)

No.	セメント、ブルック添加量		PH	ファンネル粘性
	セメント	ブルック		
1	—	—	7.7	32.4秒
2	8kg/m ³	—	8.5	103.1秒
3	8kg/m ³	1kg/m ³	8.5	26.8秒

使用例2 泥水の粘度：FV60秒 泥水の比重：1.22



使用例3 土 壤：シルト・粘土層 口径×推進延長：φ1200×L216m

ヒューム管 No.		20	21	22	23	24	25	26	
調整槽	粘性	推進 始	29	20	26	27	28	21	
	FV (秒)	推進 終	50	22	53	46	56	53	
	比重	推進 始	1.14	1.04	1.15	1.17	1.19	1.22	1.09
		推進 終	1.22	1.10	1.15	1.17	1.19	1.22	1.15
泥水量 (m ³)		12	7	9	9	10	11	8	
ブルック添加量 (kg)					10	10	10		
余剰泥水処分量 (m ³)		12					11		
清水加水量 (m ³)			7					8	

このデータからわかりますようにブルックを使用しなければヒューム管No.22で、余剰泥水の処理が必要となりますが、ブルックを使用し、ヒューム管No.25まで調整槽の泥水を循環使用でき、余剰泥水処理費の節約ができました。

■性状

ブルック

主成分	ブルック	比重	1.2~1.3
外観	淡緑	販売中止	状

ブルックLI

主成分	無機高分子塩	比重	1.4~1.5
外観	淡黄色透明液体		

■荷姿

ブルックLI 25kg入り缶